

議会だより しすい

編集・発行/酒々井町議会

〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171 (代表)



No.209

令和5(2023)年11月15日発行



写真/10月12日 プリミエール酒々井
赤ちゃん向けおはなし会



議会HPは
こちらから
Check!

9月
定例会

令和4年度決算及び議案審議等・・・・・・・・・・P2~P8

委員会・本会議での審議結果・・・・・・・・・・P9~P11

一般
質問

議員13人が町政を問う・・・・・・・・・・P12~P19

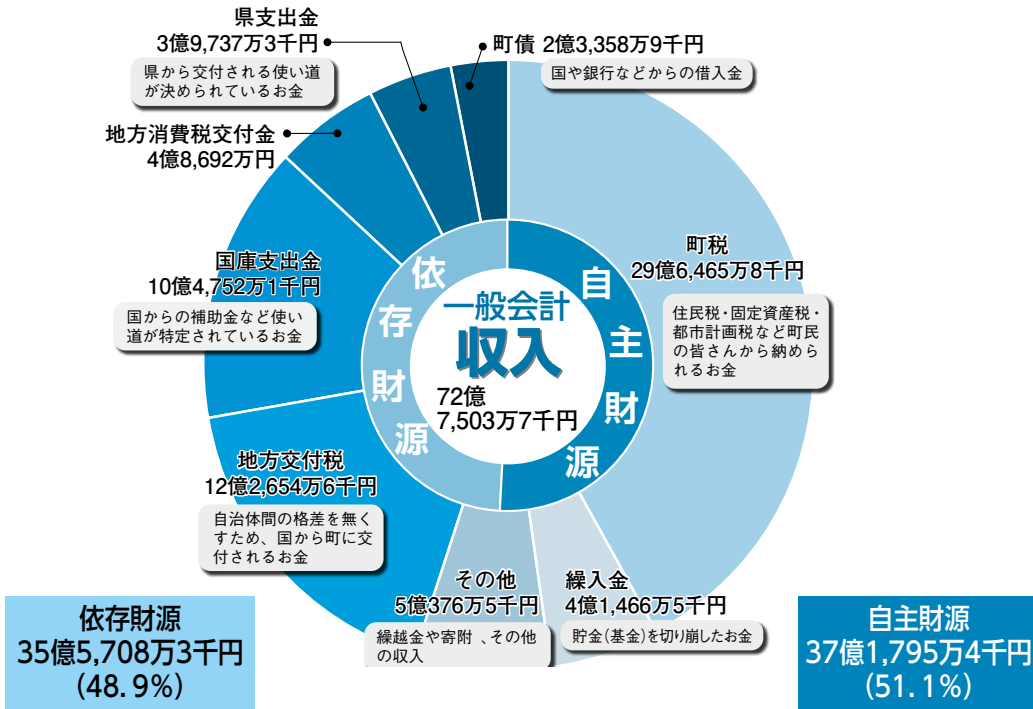
8月
臨時会

補正予算などの審議結果・・・・・・・・・・P19

9月定例会
令和4年度
決算

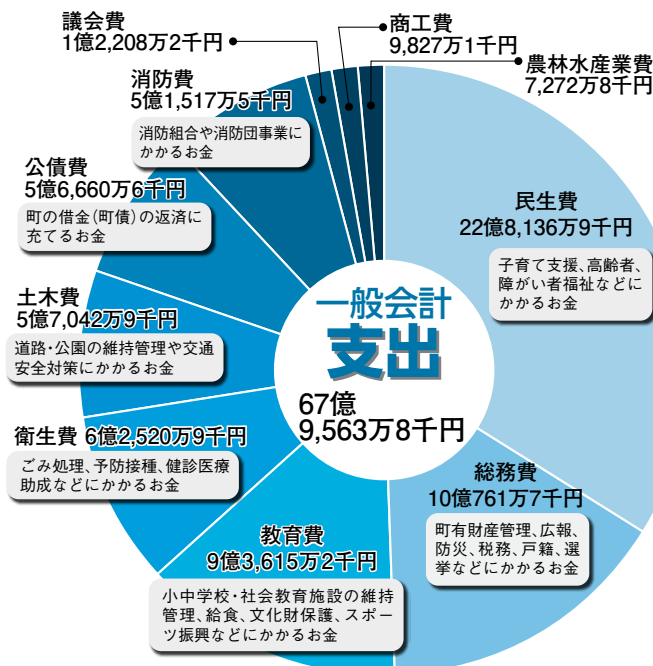
第6次総合計画
(10年)

初年度決算を認定



令和4年度歳入(収入)の概要

- ▶ 町税…新型コロナウイルス感染症の経済制限政策等が緩和されたことによる個人所得の増加や企業の業績回復等により、前年度比 6,373 万 5 千円の増額。
- ▶ 地方交付税…前年度比 1 億 4,749 万 2 千円の増額。
- ▶ 国庫支出金…子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金、新型コロナウイルス感染症対策関係交付金等の減少により、前年度比 2 億 9,034 万 6 千円の減額。
- ▶ 県支出金…防犯ボックス事業補助金、子どものための教育・保育給付費負担金等の減少により、前年度比 1,932 万円の減額。
- ▶ 町債…臨時財政対策債の減少により、前年度比 4 億 5,966 万 9 千円の減額。
- ▶ 繰入金…財政調整基金からの繰入が増加したことにより、前年度比 1 億 7,320 万 6 千円の増額。



令和4年度各会計決算については、議員6名による「決算審査特別委員会」が3日間にわたり開催され、執行部からの詳細な説明を受けるとともに、厳正な審査を行いました。

決算審査特別委員会の審査結果報告を受け、審議の結果、各会計決算はいずれも原案のとおり認定されました。

令和4年度歳出(支出)の概要



第6次総合計画・前期基本計画の1年目となる令和4年度。計画期間の5年間で特に力を入れて推進すべきとして掲げた3つの重点テーマ「安全・安心」「郷土力」「将来の息吹」。これらの実現を目指し、まちづくりの基本目標として7つの政策分野にまとめられています。

令和4年度に実施された事業などの一部をまちづくりの基本目標ごとに紹介します。



目標1



誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり(健康・福祉・子育て)

- ▶ほっと一息クーポン支援事業 2,298万円 (75歳以上の方に5千円分のQUOカードを支給)
- ▶新型コロナウイルス感染症対策支援事業 (PCR検査・自宅療養者支援事業など) 1,505万円
- ▶子ども医療費助成事業 5,319万円
- ▶障害者福祉事業 4,358万円 (重度心身障害者医療給付事業・福祉タクシー事業・紙おむつ等購入助成事業など)
- ▶老人福祉事業 2,227万円 (はりきゅうマッサージ等施術利用料助成事業・高齢者外出支援タクシー事業など)

目標2



人権と学びが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり(教育・文化)

- ▶墨古沢遺跡保存整備事業 2,419万円
- ▶本佐倉城跡保存整備事業 1,115万円
- ▶公民館管理事業 2,392万円
- ▶プリミエール管理事業 3,069万円
- ▶パワーアップE助成事業 77万円 (町内小中学校の小学6年生と中学3年生を対象に英語検定の検定料を1人年1回全額助成)
- ▶スクールバス運行业務委託事業 1,339万円
- ▶町立小・中学校修学旅行費補助金 130万円

目標3



豊かな日常を守る、安心安全なまちづくり(生活安全)

- ▶消防団事業 1,280万円
- ▶消防施設事業 2,177万円 (消防団装備品や消防機庫、消防車の維持管理など)
- ▶防災一般事務費 429万円 (備蓄品等の整備や土砂災害ハザードマップ作成など)
- ▶防災行政無線管理整備事業 699万円
- ▶防犯街灯事業 2,592万円
- ▶交通安全対策事業 490万円
- ▶防犯ボックス事業 983万円

目標4



自然と共存し、環境に負荷をかけるまいまちづくり(環境共生)

- ▶環境衛生対策事業 2,202万円 (葬祭組合管理運営の経費や飼い犬の登録管理・狂犬病予防注射の啓発など)
- ▶地球温暖化対策推進事業 923万円 (家庭での地球温暖化対策促進のため電気自動車の購入や蓄電池システムの設置等に補助金の交付など)
- ▶じん芥処理事業 1億7,662万円 (清掃組合管理運営の経費や一般家庭ゴミの収集運搬、コンポストや機械式生ゴミ処理機購入への補助金交付など)
- ▶し尿処理事業 1,488万円 (衛生施設管理組合管理運営の経費や補助対象区域内に高度処理型合併浄化槽等設置への補助金交付など)

目標5



便利で快適な、歩いて暮らせるまちづくり(都市基盤)

- ▶道路維持事業 9,596万円 (舗装補修、側溝清掃、除草など町道の維持管理)
- ▶駐輪場事業 1,699万円
- ▶社会資本整備総合交付金事業(道維) (町が管理する橋梁の補修工事や補修に伴う設計業務、橋梁長寿命化修繕計画の見直し) 7,612万円
- ▶総合公園管理事業 1,798万円
- ▶街区公園管理事業 2,153万円
- ▶住宅リフォーム補助事業 262万円
- ▶都市計画マスタープラン・立地適正化計画見直し事業 224万円

目標6



活気と魅力にあふれ、にぎわいのあるまちづくり(産業・経済)

- ▶農業振興管理事業 1,232万円 (肥料等物価高騰対策農業者助成金の支給など)
- ▶商工業振興費 944万円 (原油価格高騰対策助成金の支給、町商工会への補助金交付など)
- ▶観光事業 373万円
- ▶コミュニケーションセンター事業 678万円
- ▶コミュニティプラザ運営事業 1,881万円
- ▶ハーブガーデン運営事業 339万円
- ▶まるごとしすい運営事業 1,119万円

目標7



多様な主体との連携により、地域の力で紡ぎだすまちづくり(地域生活・行財政)

- ▶公園等愛護活動推進事業 235万円
- ▶資材等支給事業 35万円 (住み良い住環境整備の促進や地域住民等の連携のため地域住民自ら施工する生活環境整備工事等に対し必要な資材等を支給)
- ▶地域活動拠点施設(下宿ベース)運営事業 21万円
- ▶隣保館運営事業 945万円
- ▶情報化推進事業 4,659万円
- ▶庁舎管理事業 3,048万円

令和4年度各会計決算額

区 分		収入（歳入）		支出（歳出）		
		令和4年度	令和3年度 前年度比較	令和4年度	令和3年度 前年度比較	
一般会計		72億 7,503万 7千円	77億 2,575万 2千円 △ 4億 5,071万 5千円	67億 9,563万 8千円	72億 9,589万円 △ 5億 25万 2千円	
特別会計	国民健康保険	20億 9,785万 1千円	23億 2,705万 9千円 △ 2億 2,920万 8千円	20億 8,134万 4千円	22億 8,470万 5千円 △ 2億 336万 1千円	
	介護保険	14億 7,605万 2千円	14億 892万円 6,713万 2千円	14億 2,378万 2千円	13億 7,458万円 4,920万 2千円	
	後期高齢者医療	3億 5,271万 7千円	3億 2,562万円 2,709万 7千円	3億 5,196万円	3億 2,428万 8千円 2,767万 2千円	
公営企業会計	水道事業	収益	4億 9,007万円 1,112万 6千円	4億 1,053万 4千円	4億 646万 8千円 406万 6千円	
		資本	4,710万円	608万 4千円 4,101万 6千円	2億 423万 7千円	2億 3,071万 7千円 △ 2,648万円
	下水道事業	収益	3億 6,717万 5千円	3億 5,467万 5千円 1,250万円	4億 2,124万 2千円	4億 3,301万 7千円 1,175万 5千円
		資本	7,198万 9千円	1億 3,936万 7千円 △ 6,737万 8千円	1億 9,860万 6千円	2億 3,273万 2千円 △ 3,412万 6千円

■ 一般会計の状況 ■

決算額は、歳入総額72億7,503万7千円、歳出総額67億9,563万8千円、差引き4億7,939万9千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源1,319万9千円を差し引いた実質収支額は、4億6,620万円となりました。

これを前年度の歳入総額77億2,575万2千円、歳出総額72億9,589万円と比較すると、歳入において4億5,071万5千円、5.8%の減。歳出においては、5億25万2千円、6.9%の減となりました。

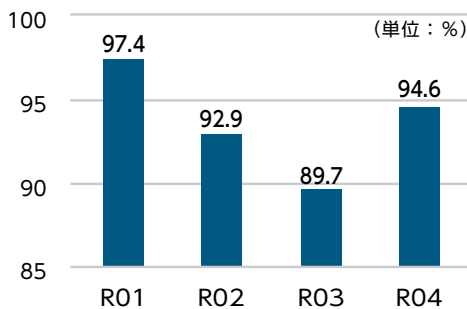


町の財政状況

経常収支比率

数値が低いほど財政の弾力性が高く、余力がある。

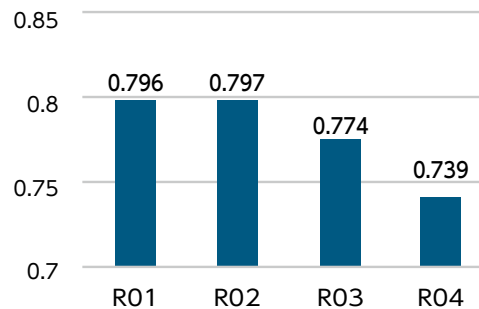
単年数値
県内町村平均 86.3%



財政力指数

過去3年間の平均値となり、数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。

県内町村平均 0.493



自主財源比率 51.1%

歳入全体を占める自主財源の割合のことで、前年度に比べ5.1ポイントのプラス。

実質公債費比率 5.7%

早期健全化基準の25%を下回っている状況で健全。

将来負担比率 12.5%

早期健全化基準の350%を大幅に下回っている状況で健全。

決算特別委員会での意見・要望事項

【決算審査特別委員会】

委員長：御園生 浩士

副委員長：小早稲 美穂

委員：竹尾 忠雄・白井 則邦・綿貫 薫・小坂 和也

全般的事項

- 各事業について、費用対効果に合った事業なのか効果検証を行い、事業評価に努められたい。
- 依然、経常収支比率が高く、財政の硬直化が見受けられる。さらにラスパイレス指数も全国町村平均よりも高い状況にある。これらを解消するための対策として、事業の見直しや職員の削減も考えられるが、安易な対策は町民サービスの低下など、様々な支障をきたすことが想定されることから慎重に対応されたい。また、現在、15に及ぶ基金を設置されているが、各事業の実態に照らし合わせ、基金の精査、合理化することにより財政健全化の一助となるよう検討されたい。
- 決算において、随所に多額の不用額が見受けられる。予算を有効活用する観点からも緻密な計算を行い、補正予算にて不用額を縮減されるよう努められたい。

一般会計

- 「主要施策の成果説明書」は形式的なものではなく、相対的に判断できる資料となるよう改善されたい。
- プリミエール酒々井の文化ホールは規模的にも利用しやすく、また、図書館ではニーズを取り入れて電子書籍の導入や施設規模を上回る蔵書の確保などに努められており、多くの方々から評価を得ているので、引き続き、好まれる施設運営に努められたい。
- ふれ愛タクシーを1台減車し、3台体制にしたことにより、利用者から使い勝手が悪くなったとの意見を聞いている。早期に4台体制に戻し、利用者の利便性向上を図られたい。
- まるごとしすい事業については、当初計画に則った運営に努めるとともに、商品開発コンサルタント業務による成果品が、どれだけ町内に波及（原材料の仕入れや雇用、下請け等）されているのか、検証されたい。
- 社会資本整備総合交付金事業で不適切な会計処理がなされたことにより、補助金の返還及び加算金の支払いが生じた。今後、このような事案が生じないよう適切な事務処理に努められたい。
- ちびっこ天国については、個別施設計画の考え方を念頭に置きながら、今後の利用方針を早急に決められたい。



令和4年度決算に関する討論

令和4年度決算に反対
虚偽の報告で加算金を
含む2千百万円の返金

竹尾 忠雄 議員

まず、「無電柱化事業」で町長は年度内に完了していないのに県に実績報告書を提出し、国費を受け入れたことが国の会計検査院の調査で判明し、加算金含む約2千百万円を国に返還となった。「あつてはならない事案」があった。

次に、プリミエール酒々井の空調機は、2台の機械で交互運転しているが、令和4年12月に1台が故障し、1台運転となっているさなか令和5年7月に故障し完全停止となってしまった。老人福祉大会や中学校吹奏楽部の皆さんなど1,613人の方が使用できなくなってしまう。令和4年度中に更新手続を行えば完全停止を防ぐことができたのではないか。

さらに、ちびっこ天国は、県から解体相当額4億円を受け入れたが、令和4年度末の基金残高は1億7千万円となってしまう。7年間使用していない施設の管理費に750万円支出している。無駄遣いをやめ、税金は町民のために使うべきである。

成 賛
コロナ禍の農業者・商
工業者に対する物価等
高騰対策を評価する

岡野 義広 議員

酒々井町の令和4年度の健全化判断比率の状況は、財政は健全であること。

コロナ禍における対応の農業振興として、農業者に対する酒々井町肥料等物価高騰対策農業者助成金支給事業と、商工振興として、商工業者に対する酒々井町原油価格高騰対策助成金支給事業を実施し、農家の皆



さんや商工業者の皆さんの物価高騰に対する支援をしたこと。また、安全安心面では、消防団の小型ポンプ積載車及び小型ポンプをそれぞれ2台更新し、防災に資するものと考えます。さらに全般的に限られた財源を町民の福祉を優先に考えた令和4年度一般会計決算であったことから、賛成する。

不正な補助金受領に
対する返還金と加算金
が含まれているため

齊藤 博 議員

理由は、町道021009号線電線共同溝工事に係る不正な補助金受領に対する返還金1千584万円と過料である加算金584万円が含まれているからである。

「やってしまったことはしょうがない。」では済まされない。加算金の584万円は「高齢者へのタクシー料金軽減策の一分と同じ金額である。」「やってはならない」過ちを二度と起こさないために第三者による原因究明が必要だが行われていない。よって、令和4年度決算の認定に反対する。



9月定例会

議案審議

一般会計補正予算

全会一致で可決

9月定例会概要

9月定例会は、8月30日から9月29日までの31日間の会期で開催されました。

町長から提案された議案12件と議員から提案された発議案1件について、それぞれ審議を行いました。審議の結果、発議案を除く議案は、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

なお、令和4年度各会計決算については、「決算審査特別委員会」を設置し、3日間にわたり審査を行いました。

行政報告では、町長から次の三点の報告がありました。
①「災害時電動車両等の支援に関する協定の締結について」
②「災害時物資供給に関する協定の締結について」

③「酒々井町制施行135周年記念事業の実施に向けた取り組みについて」

また、教育長からは「青少年交流の家に係る提訴の経過報告について」行政報告がありました。

一般質問では、13名の議員が3日間にわたり行い、まちづくりや地域振興、子育て支援など町政全般について質問しました。

議案審議

9月定例会で審議された議案の中から注目議案をご紹介します。

(審議の結果は9頁〜11頁に掲載)

議案第12号

町教育委員の再任

町教育委員の任期満了に伴い、現教育委員である林洋子氏を再任するため議会の同意を求めるもの。

《全員賛成で同意》



林 洋子 教育委員

議案第5号

一般会計を増額補正

今回の補正は、歳入歳出それぞれ2億5745万8千円を増額し、補正後の予算額を72億1926万円とするもの。

《全員賛成で可決》

補正予算

この事業に注目！



ハーブガーデンショップ ウッドデッキ改修工事

設置から約30年が経過し腐食が進んでいることから既存ウッドデッキの撤去と新設工事を行うための増額補正。



579万円

準用河川馬橋川 補修工事

法面が一部崩落しているため土砂撤去工事と暗渠管布設工事の実施するため増額補正



531万円

交通安全対策事業

交通事故等を未然に防ぐために、通行量や要望等を鑑み優先度の高い路線において区画線の引き直し工事を実施するため増額補正



569万円

道路維持事業

江川(伊篠)において、経年劣化による水路隣接部の陥没が発生し、素掘り部の法面も崩落したため補修工事等を行うための増額補正



1,113万円

肥料等物価高騰対策 農業者助成金支給事業

令和4年の対象経費、肥料費及び動力光熱費が合計30万円以上の農業者に対し、20万円を上限に助成するため増額補正



500万円

原油価格高騰対策 助成金支給事業

令和4年の対象経費、ガソリン・灯油・重油・軽油が合計50万円以上の事業者に対し、20万円を上限に助成するため増額補正



651万円

報告

報告第1号
一般会計予算継続費精算
報告書を議会に報告

令和2年度から令和4年度までの継続事業として実施した「町農業振興地域整備計画策定業務」が終了したことから、規定により議会に報告するもの。

報告第2号
財政健全化判断比率
などを議会に報告

令和4年度決算に基づく財政健全化判断比率及び資金不足比率について監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。

内容は、一般会計と公営事業会計を含む全会計で赤字額は無く、早期健全化の基準値を大きく下回っていることから、健全段階にあることを報告するもの。

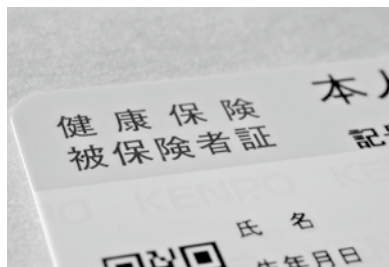


意見書

発議案第1号
国民の命と健康を守るために従来の保険証の存続を求める意見書の提出

政府は、マイナンバーカードに健康保険証機能を組み込んだ「マイナ保険証」の普及のため、2024年秋から従来の健康保険証を原則廃止するとしているが、重大な問題がいくつもある。よつて国は、国民の命と健康を守り、国民皆保険制度のもと、誰もが安心して医療が受けられるよう、従来の保険証を存続させることを強く要望するもの。

提出者 竹尾 忠雄 議員
 賛成者 地福美枝子 議員
 白井 則邦 議員



討論

反対
議会としての従来の保険証の存続を求める意見書の提出に賛成できない

金塚 学 議員

現状の健康保険証では実際には多くの問題が起こっており、今、国はマイナンバーカードと一体化することで早期にその問題を解消しようとしている。

具体的問題点を挙げれば、1年間に医療機関が医療費を20億回請求する中で5百万回以上の誤りがあり、マイナ保険証を使ってオンライン上で医療保険の資格確認を行うことで、なりすましや資格喪失後の保険証の使用など請求誤りを防ぎ、本来必要の無い業務を削減できる。

また、薬の情報医療機関・薬局で共有することで薬の重複投薬を防ぐことができ、年間5730億円の社会保障費の削減ができるという試算もある。デジタル化の時代の中で国がマイナンバーカードを活用し利便性向上を目指す中で町議会として反対する意見書の提出に賛成できない。

賛成

マイナ保険証はトラブルが続く命に関わることから従来の保険証の存続に賛成

地福美枝子議員

賛成

従来の保険証の利用者が少なくなった時点で廃止を決定することがプロセスだと考える

白井 則邦議員

従来の保険証の存続を求める意見書には、「マイナ保険証」の問題点が見合った給付」の名で「負担に見合った給付」の名で社会保障の給付を抑制し、国の財政負担、大企業の税・保険料負担を削減していくことが、この制度を導入した政府・財界の最大のねらいである。

その中で「マイナ保険証」は、現在、さまざまなトラブルが続いている。トラブルの7割は、これまでの健康保険証を持って行けば問題なく対応できたのが全保険医団体連合会で明らかになっている。

なんとといっても「マイナ保険証」の一番の問題は命に関わるということである。

まずは、現在の保険証を存続させることの一点で賛成する。

来年秋にこの健康保険証を廃止が予定されているが、すぐに廃止をすべき積極的な理由はどこにもない。

マイナ保険証のトラブルが多い中、どのようなメリットを強調しても、すぐに保険証を廃止する理由にはならない。すぐの保険証の廃止は社会に混乱を招くことになる。これは本来必要のなかった混乱を政府が招いてしまう愚策だと考えている。

マイナ保険証の便利さに気づき、徐々に人がマイナ保険証に移っていく。そうして従来の保険証の利用者が少なくなった時点で廃止を決定する。それがあべき政策のプロセスだと考える。



各常任委員会での審査結果

◎…委員長 ○…副委員長

件名 (件名は一部省略)		審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	押印を求める手続の見直しのための関係条例の整備に関する条例の制定	4	0	原案可決
議案第5号	令和5年度町一般会計補正予算(第4号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決

総務常任委員会

■総務課、企画財政課、税務住民課、会計室、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、その他の事務についての審査を担当

委員 ◎小早稲 / ○地福高崎 / 御園生酒瀬川

件名 (件名は一部省略)		審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第5号	令和5年度町一般会計補正予算(第4号) ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第6号	令和5年度町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	5	0	原案可決
議案第7号	令和5年度町介護保険特別会計補正予算(第1号)	5	0	原案可決
議案第8号	令和5年度町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	5	0	原案可決

教育民生常任委員会

■住民協働課、健康福祉課、教育委員会についての審査を担当

委員 ◎大石 / ○白井川島 / 木内岡野 / 小坂

件名 (件名は一部省略)		審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第5号	令和5年度町一般会計補正予算(第4号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第9号	令和5年度町水道事業会計補正予算(第1号)	4	0	原案可決
議案第10号	令和5年度町下水道事業会計補正予算(第2号)	4	0	原案可決
議案第11号	町道路線の認定について	4	0	原案可決

経済建設常任委員会

■経済環境課、まちづくり課、上下水道課、農業委員会についての審査を担当

委員 ◎江澤 / ○竹尾齊藤 / 金塚綿貫



本会議での 議決結果

賛成・・・○ 反対・・・× 欠席・・・欠 (議長は採決に加わりません)

議案番号	9月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎議長
<条例の制定>																		
1	押印を求める手続の見直しのための関係条例の整備に関する条例の制定 …押印を求める手続の見直しのため、町固定資産評価審査委員会条例と町火入れに関する条例について、所要の改正を行うもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<令和4年度決算認定>																		
2	[掲載：2頁～5頁] 一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定 …各会計の令和4年度歳入歳出決算を監査委員の意見を付して認定するもの。	認定 賛11・否4	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○
3	[掲載：2頁] 水道事業会計決算の認定 …水道事業会計の令和4年度歳入歳出決算を監査委員の意見を付して認定するもの。	認定 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	[掲載：2頁] 下水道事業会計決算の認定 …下水道事業会計の令和4年度歳入歳出決算を監査委員の意見を付して認定するもの。	認定 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<令和5年度補正予算>																		
5	[掲載：7頁] 一般会計補正予算(第4号) …農業者に対する肥料等物価高騰対策農業者助成事業、工業者に対する原油価格高騰対策助成事業や道路舗装工事、準用河川馬橋川補修工事等、合計2億5,745万8千円を追加し、補正後の予算額を72億1,926万円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	国民健康保険特別会計補正予算(第1号) …令和4年決算の確定に伴うもの及び令和5年度国民健康保険事業費納付金金額の決定に伴うもの等を補正するため、711万円を増額し、補正後の予算額を21億7,044万9千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	介護保険特別会計補正予算(第1号) …令和4年決算の確定に伴うものを補正するもので、5,300万円を増額し、補正後の予算額を15億2,953万7千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) …令和4年決算の確定に伴うものを補正するもので、75万7千円を増額し、補正後の予算額を3億6,480万2千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

本会議での 議決結果

賛成・・○ 反対・・× 欠席・・欠 (議長は採決に加わりません)

議案番号	9月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎議長
<令和5年度補正予算>																		
9	水道事業会計補正予算(第1号) …人事異動に伴う人件費の補正を行うもので、収益的支出を531万7千円増額し、補正後の予算額を5億1,116万3千円とするもの。また、資本的支出を11万8千円増額し、補正後の予算額を2億7,396万9千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	下水道事業会計補正予算(第2号) …収益的支出については、中川排水路の川底改修工事の実施などを行うため255万3千円を増額し、補正後の予算を4億4,595万1千円とするもの。収益的収入については、中川排水路の川底改修工事の実施に伴い、当該事業費を雨水処理負担金として一般会計から繰り入れるもので、250万8千円増額して補正後の予算を3億8,079万3千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<町道路線の認定>																		
11	町道路線の認定 …宅地開発に伴い伊篠地先2路線を認定するにあたり、議会の議決を求めるもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<人 事>																		
12	[掲載：7頁] 教育委員会委員の任命同意 …令和5年9月30日をもって任期満了となることに伴い、現教育委員会委員である林洋子氏を再任するため、議会の同意を求めるもの。	同意 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<発議案> 議員提出による議案																		
1	[掲載：8頁] 国民の命と健康を守るために従来の保険証の存続を求める意見書の提出について …政府は、マイナンバーカードに健康保険証機能を組み込んだ「マイナ保険証」の普及のため、2024年秋から従来の健康保険証を原則廃止するとしているが、重大な問題がいくつもある。よって国は、国民の命と健康を守り、国民皆保険制度のもと、誰もが安心して医療が受けられるよう、従来の保険証を存続させることを強く要望するもの。 (提出者) 竹尾忠雄 議員 他2名	否決 賛6・否9	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○



一般質問

町の考えを問う

ここが聞きたい

1 (P13)	大石 法子 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 医療用ウィッグ購入費用助成 ▶ J R酒々井駅にユニバーサルトイレの新設 ▶ 通学路の安全確保
2 (P13)	御園生 浩士 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ドルフェン市への海外視察 ▶ 町の総合計画 ▶ 保育園・小中学校の教職員の働き方改革
3 (P14)	金塚 学 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 町民誰もが健やかに暮らせるまちづくりの推進 ▶ 安心・安全で住みよいまちづくりの推進 ▶ 地域経済の振興・発展と賑わいのあるまちづくりの推進 ▶ 教育環境の整備促進と文化が香るまちづくりの推進
4 (P14)	白井 則邦 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子育て世帯への食生活支援 ▶ 不登校について
5 (P15)	小坂 和也 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 町づくりについて ▶ 観光事業について ▶ まるごとしすいについて ▶ 福祉事業について
6 (P15)	江澤 眞一 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ふるさと納税 ▶ 酒々井小学校、中学校について
7 (P16)	地福 美枝子 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子育て支援に関すること ▶ 特別養護老人ホームの待機者について ▶ 加齢性難聴者に補聴器費用の補助 ▶ マイナンバーカードに関して
8 (P16)	竹尾 忠雄 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校給食について ▶ プリミール酒々井の空調設備故障 ▶ 低米価と食料問題 ▶ 道路問題 ▶ 青少年交流の家及び馬橋地区住民との裁判
9 (P17)	川島 邦彦 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 園の管理と整備 ▶ 防犯街灯のLED化
10 (P17)	岡野 義広 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ デジタル行政の推進
11 (P18)	小早稲 美穂 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 町内小中学校及び指定避難所である町公共施設の平常時と非常時の保健衛生・環境衛生の体制及び施設整備等について
12 (P18)	木内 信子 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 高齢者の移動手手段の改善・充実 ▶ 不登校の児童生徒の実態とその処遇
12 (P19)	齊藤 博 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 町議会における議決案件 ▶ 中川治水対策 ▶ J A跡地の活用と進捗状況 ▶ 個別施設計画により生じる施設跡地の活用

※各議員の質問事項については、本誌に掲載してある質問をゴシック体で表記しています。



議会の様子(録画)を公開しています

議員下のQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本会議録画中継
はこちらから▶



一般質問とは、議員が、事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を町長などの執行機関に求めることです。

9月定例会では、9月6日から8日までの3日間で13名の議員が登壇し、町政について質問しました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容を質問順にお知らせします。

※今回の令和5年第5回定例会の会議録(12月上旬発行予定)は、インターネットまたは図書館でご覧いただけます。



問 医療用ウィッグの購入に助成金を

答 国や県の動向を注視して検討したい

問 がん患者の多くが抱える悩みに脱毛を上げる人が多い。外見的な変化による苦痛は治療や就労への意欲の低下を起すだけでなく、二次的・三次的な不調の原因にもなり兼ねない。医療用ウィッグは高額なため、町による助成が必要と思うが、町の考えを伺う。

健康福祉課長 国では、がん対策推進基本計画において、がん治療に伴う外見の変化に対しての相談支援等のあり方について検討していることから、国や県の動向を注視し、情報を集めながら検討していきたい。

ユニバーサルトイレの設置を

問 J R 酒々井駅のトイレにユニバーサルトイレを設置できないか伺う。

まちづくり課長 ユニバーサルトイレには規定の面積があり、J R との協議が必要となってくるので、トイレ改修に併せて協議していきたい。

通学路の安全確保は急務

問 京成酒々井駅付近の通学路は狭い道路にも関わらず、登校時の交通量が非常に多く、児童生徒の安全確保に心配する声が多い。町はどのような対応



大石 法子 議員



踏切近くで、クランク状になっている 京成酒々井駅前の道路

を考えているのか伺う。
学校教育課長 平成26年の通学路合同点検では、横断歩道設置の要望があったが、「クランク部での横断歩道設置はかえって危険となるため、路面表示で注意喚起することになった。学校では、児童への交通安全指導を徹底し、登下校時には安全確保のため、PTAの協力を得ている。

問 当初、海外視察一人100万円だったが、幾らになったのか

答 見直しにより、一人あたり約50万円を見込んでいます

問 ドイツ（ドルフェン市）への視察目的と視察者の立場を伺う。

町長 ドルフェン市との学校間の交流をきっかけに、現在は都市間交流に広がりを見せており、ドルフェン市長より、市誕生1250年記念式典への招待があったことから、都市間交流を行う自治体の長及び議会代表の長、学校同士の交流を行う教育委員会代表の長として参加するために、ドルフェン市を訪問する。

問 当初予算で海外視察予算は一人100万円であったが、4人から5人になったことにより幾らになったのか。

総務課長 当初予算では、原油高や円安の影響等、見直しがつきづらの中で議会から承認をいただいた。航空機を直行便から経由便への切り替えやドルフェン市の協力により、移動経費を減額することができたので、一人あたり約50万円を見込んでいます。

問 どの様な日程で行動するのか。

総務課長 移動を含め3泊5日で、9月15日の記念式典に参加するほか、その前後の滞在期間で、国際交流を行っ



御園生 浩士 議員



ている学校と今後の交流事業に関する意見交換や中学生が実際に訪れている歴史文化施設等の一部を視察する予定である。

ビッグモーター前の土壌検査実施は

問 「ビッグモーター」による除草剤の散布が社会問題化しているが、当町では、ビッグモーター前の植樹帯の土壌検査は行わないのか。

まちづくり課長 もともと植樹帯には何も植樹されていないので、除草剤は散布されなかったと考えている。そのため土壌検査は考えていない。



ビッグモーター前

問

新設された酒々井中学校テニスコートへトイレの整備を

答

現状は体育館外のトイレを利用していたきたい



金塚 学 議員



問 「スポーツ振興くじ助成金」を受けテニスコートが整備され、中学生の競技力向上はもとより、地域のスポーツ振興を目的に夜間も利用できるナイター照明付きの施設であるが、トイレの整備計画はないのか伺う。

副町長 今後、学校施設整備改修の検討をしていくなかで考えていくが、現状、体育館の外にトイレがあるので、そちらを利用していただきたい。

計画的な街路樹の管理を

問 街路樹の植栽は、景観、緑化、CO2の削減など、環境問題への取り組みでもあるが、災害対策や日々の管理への費用負担等の問題もある。今後、町の街路樹のあり方や管理の方法について考えを伺う。

まちづくり課長 限られた予算で対応しているため、町では複数年に1回程度の剪定にとどまっており、このことは町ホームページに掲載し、町民の理解を求めている。街路樹を適切に維持管理するには大きな財政負担となるので、管理しやすい樹木に植え変えることや街路樹を間引くといったことも含

め、今後、管理について検討していく。

駅舎のハト対策、長寿命化対策は

問 J R酒々井駅のハトの糞に対する改善は、改札内は鉄道事業者の管理であるが、町が費用を負担してでも対策をしようとの考えはないのか。また、駅舎の長寿命化や再塗装について計画されているのか伺う。

まちづくり課長 町からハト対策を要望しており、JRで駆除対策を実施したと聞いている。今後、駅舎の点検や補修時期と合わせ、計画的に修繕できるように検討し、その際にハト対策も実施できるよう調整していく。

教育環境の整備促進を

問 八街市の通学路における悲惨な事故以降、スクールバスへの関心が高まっている。町スクールバスの運行は平成16年の路線バス廃止に伴い、路線バスの代替え運行である。町はこの路線バスの代替えという考えを踏襲しているのか。

学校教育課長 今後も現状のスクールバスの運行を継続していきたいと考えている。

問

給食のない夏休みに食生活支援の実施を

答

支援はないが、今後、ひとり親家庭の状況調査を検討している



白井 則邦 議員



問 「令和元年度 千葉県子どもの生活実態調査報告書」によれば、小学生全体の14・9%が、必要な食料が買えなかった経験があったと回答。困窮している子育て世帯への食生活支援が不可欠となっている。町は、食生活支援が必要な子育て世帯に関して、調査をしたことがあるのか。

健康福祉課長 食生活支援が必要と思われる子育て世帯への調査は実施していない。

問 夏休みは給食がないが、栄養の面で不安を抱えている家庭へ、何らかの支援は検討しているのか。

健康福祉課長 夏休み中の支援はないが、今後、ひとり親家庭の状況調査を検討している。

学校教育課長 9月に身体計測を実施しており、そこで体重や身長を確認しているが、その時の様子で心配な子がいた場合には、養護教諭が保護者や子どもに声かけをしている。

不登校問題に対する対策は

問 令和4年度の全国の小中学生の不登校児童生徒数は24万人を超えているが、令和4年度における、酒々井町の小中学生の不登校児童生徒の人数は

学校教育課長 令和4年度では、小学校2年生1人、3年生1人、5年生2人、6年生2人、中学校1年生5人、2年生3人、3年生6人となっている。

問 不登校児童生徒・保護者に、主にどのような支援をしているのか。

学校教育課長 支援として、「学びたいと思ったときに学べる環境を整える取組」「チーム学校で支援する取組」「学校をみんなが安心して学べる場所にするための取組」の3つに取組んでいる。また、いじめや暴力行為などの問題行動には毅然とした対応を徹底するよう各学校には依頼している。これらの取り組みにより、児童生徒と教員の信頼関係が強化され、困った時にすぐに相談できる体制ができるものと考えている。

問 本場に「子育てしやすい町」と感じているのか

答 アンケート結果に基づいてアピールしている



問 移住情報ポータルサイトに町の魅力として「子育てしやすい町」と掲載しているが、子育てしている方からは小児科がないなど、満足していることよりも足りない点の意見をいただくことが多い。子育てしやすい町と言っているのは誰なのか伺う。

企画財政課長 平成30年度に就学前児童の保護者と小学生の保護者を実施した「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」で、「酒々井町は子育てしやすい町と思いますか」との設問に対して、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した就学前児童の保護者は67・4%、小学生の保護者は70%であった。

問 観光事業として実施している公衆無線WiFiの業務実績及び効果について伺う。

経済環境課長 町内3箇所の公衆無線WiFiは、インバウンドを含めた観光客の利便性の向上及びWiFi接続時に自動的に町のホームページにアクセスされる機能を利用した町内観光

施設や飲食店等への誘客のための情報発信ツールとして、JR酒々井駅西口ロータリー、しすい・ハーブガーデン、まるごとしすいに設置・運用している。

町民への還元をどう図るのか

問 まるごとしすいの利用状況、業績実績、今後の展開、売り上げがどのよう

に町民に還元されていくのかを伺う。
経済環境課長 年間来店者数は、令和2年度が7,725人、令和3年度が11,972人、令和4年度が12,407人で、年々増加傾向にある。業績実績として、特産品開発推進業務では町内事業者と協力のもと、新たな特産品開発を行い、観光案内所業務としては、来客者に観光施設や飲食店、イベント情報等の提供を行っている。土日祝日に開催している「楽市」の売り上げは町に入るものではなく、運営している事業者に入るものであり、使用料が町の収入となる。まるごとしすいは産業振興に資する施設であり、観光案内や特産品開発等により、町内への誘客を促し、町の産業が活性化することで、還元が図られるものと考えている。

問 ふるさと納税による町の減税額は

答 令和3年度は2,889万8千円
令和4年度は3,428万7千円



問 令和3年度、4年度のふるさと納税額を伺う。

企画財政課長 寄附金受入額は、令和3年度は1,727万3千円、令和4年度は1,665万1千円となっている。

問 令和3年度、4年度のふるさと納税における住民税の減税額を伺う。

税務住民課長 町民の方が他市町村へふるさと納税で寄附を行ったことによる控除額は、令和3年度中は2,889万8千円、令和4年度中は3,428万7千円となっている。

問 ふるさと納税返礼品の種類と支出額について伺う。また、返礼品として、まるごとしすいで扱っている商品があることはできないか。

企画財政課長 返礼品の種類は8月時点で約100種類で、令和4年度の返礼品に対する支出額は410万3千円となっている。まるごとしすいで扱っている品が、町内で生産や加工されたものなど、基準に該当するものであれば返礼品とすることができる。

猛暑の中での部活動などの対応は

問 猛暑の中での部活動への指導と体調管理の対応はどのようになされたのか伺う。

学校教育課長 教育委員会から熱中症アラートの情報を学校へ伝えたり、暑さ指数を計測する機器を配布している。学校では、気象庁の情報等を参考に運動強度を調整したり、休憩や水分補給を入れるとともに、体育館や武道場では、それ以外に冷風機、扇風機等により熱中症予防に努めている。

問① 中学校の体育祭の開催時期を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

問② 酒々井小学校の運動会の開催時期を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

また、大室台小学校との合同開催について検討すべきと考えるがいかがか。

学校教育課長①② 学校の教育計画である教育課程の編成は校長が定めることとなっている。特に学校行事は、各学校で校内検討会議を実施しながら決定しているため、教育委員会としては各学校の判断を尊重したい。

問 学校給食の段階的無償化を

答 第3子以降の無償化や物価高騰対策を実施している



地福 美枝子 議員



問 学校給食費の段階的無償化の検討をすべきと思うが。

学校教育課長 第3子以降の学校給食費無償化や物価高騰の影響による値上げの抑制等をしているので、現段階では無償化は困難である。

問 就学援助の申請書を全員に配布する制度にはどうか。

学校教育課長 申請書類は配付していないが、申請できる方や計算方法などの説明資料を入学前に配付している。

問 補助保護基準を1・0から増額しはどうか。

学校教育課長 所得指数1・0未満で審査しており、高い割合で認定されているので、十分な援助が行えている。

問 18歳までの医療費無償化の支払いを償還払いから現物給付にすべき。

子ども課長 制度のさらなる拡充等を検討する際に対応を考えていきたい。

特別養護老人ホーム特例入所要件は

問 要介護3以上でない特別養護老人ホームに入所できないが、要介護1・2の方が入所できる要件は。

健康福祉課長 認知症で日常生活を営

むのが困難な方や独居等により家族支援が難しい方は特例入所の対象となる。

問 要介護3以上の方の今後の見通しはどうか。

健康福祉課長 今後も対象者が増えることが予想される。待機者の解消に向け、令和7年度に開設予定の特別養護老人ホームの整備を支援していく。

加齢性難聴者の補聴器購入に補助を

問 加齢性難聴者に補聴器購入の補助を実施すべきと思うが。

健康福祉課長 国や県の動向を注視しながら検討すべき課題と考えている。

マイナンバーカードどう考えている

問 取得状況とトラブルはあったのか。

税務住民課長 直近で15,722件、トラブルの報告は受けていない。

問 自治体調査では、事務負担が重いとの回答が94%だったが、町の回答は。

税務住民課長 多くの団体と同様に「重い」と回答した。

問 マイナ保険証について、町はどう考えているのか。

健康福祉課長 信頼を得られる制度運用となるよう準備をしていく。

問 学校給食センターは自校式を検討するよう提起する

答 小中各校に新たに調理施設を整備することは、合理性に欠ける



竹尾 忠雄 議員



学校給食は、平成12年から地元産のお米を使用し、その後、野菜、梨、酒々井産味噌も使用し、地元炊飯業者、農協、農家の協力で20年間続いている。学校給食は児童生徒からも美味しいと評判であるが、町は富里市との「共同処理」の委託を検討している。そこで、次の点について伺う。

問 町の学校給食は美味しいとの評判だが、町長と教育次長の認識を伺う。

町長 普通だと思っている。

教育次長 美味しいと感じている。

問 自校方式(学校調理方式)の検討をしない理由を伺う。

教育次長 現在の学校給食センターを建設した際に、経済的な合理性や安全面・衛生面での管理のしやすさなどから、共同調理場方式とした経緯があり、その状況は現在も変わっておらず、各学校に調理施設を新たに建設し、維持管理等を行うことは合理性に欠けると判断した。

文化ホールは使い勝手のよい施設

プリミエール酒々井の空調機は、2基による交互運転をしてきたが、昨年

1基が故障し、今年7月にもう1基が故障し、完全停止となった。その日は発表会が開催されていたが、クーラーがなく、熱中症で救急搬送された方がいたため、発表会は途中で中止となった。「使い勝手のよい文化ホールの灯を消さないでください」との訴えが、匿名で私のところに入った。そこで、次の点を伺う。

問 文化ホール貸出し中止(7月から9月)となった予約件数と人数を伺う。

生涯学習課長 13団体、利用予定日は23日、利用予定者は延べ約1,613名である。

問 今回の件について、町長は管理者としての責任をどう認識しているのか。

町長 使えなくなったことに対しては大変申し訳なく思っている。

問 空調機2基による交互運転をしている理由を伺う。

生涯学習課長 1台が故障した際にもう1台がリカバリーし、その間に修理するシステムになっている。

問 子どもと高齢者が交流できる公園の整備を

答 誰もが安心して利用できる交流の場として提供していく



公園に花壇を整備し、高齢者等が主体的に管理する環境により健康生活の一助にしたいとの視点を伺う。

1 公園管理の現状を伺う。

問 町内の公園総数と、その中で管理を委託している公園数は。

まちづくり課長 都市公園法に基づく公園は、総合公園と街区公園39箇所あり、街区公園のうち15箇所を公園等愛護活動団体と町が協定を結び自主的に管理をお願いしている。

問 委託にあたり、町が支援していることは何か。

住民協働課長 委託ではなく、公園愛護団体と協定書を締結し、公園面積の基礎報奨金と年間除草等回数除草等報奨金を交付し、作業で出たゴミの処理は町が行う。なお、団体が使用する用具は、町から貸与は行っていない。

2 今後の公園整備や運営について伺う。(地域福祉計画に関連して)

問 公園の整備は、子どもと高齢者が交流できるような場とするとしているが、具体的な整備イメージを伺う。

まちづくり課長 公園としての機能を

適正に管理し、誰もが安心して利用できる交流の場として提供していく。

問 生きがいづくりの観点から、環境美化や景観づくりのボランティア活動を促進するとしているが、そのため花壇の整備を提案するのかがか。また活動に対する支援を要請する。

住民協働課長 町では「花いっぱい運動事業」を実施し、花苗等を支給している。一部の公園等愛護活動団体でも公園に花壇をつくり、花苗を植える活動を行って来ている。

防犯街灯のLED化促進を

問 防犯街灯総数とLED化数(率を含む)を伺う。

まちづくり課長 防犯街灯は、約3,000基あり、そのうち約1,800基、約60%がLED化されている。

問 脱炭素社会に向け推進すべきだが、対応の考えを伺う。また完了年度などを設定しているか併せて伺う。

まちづくり課長 従来の防犯街灯が玉切れや故障した際に、LED照明へ交換を進めており、具体的な完了目標は設定していない。

問 町のデジタル化に向けた取組状況は

答 オンライン手続きに対するシステム導入を検討していく



問 国ではデジタル手続法を施行し、デジタル化を進めているが、町のデジタル化に向けた取り組み状況を伺う。

総務課長 マイナポータルからのオンライン申請のほか、図書の貸出予約や地方税申告手続き等が既に利用可能となっているが、利便性向上を目指し、オンライン手続きに対するニーズや費用対効果等にも十分に配慮したシステム導入を検討していく。

マイナ保険証をどう考えているのか

問 町の健康保険証のマイナ保険証についての考え方を伺う。

町長 マイナ保険証を利用することで、医療情報の活用を通じて医療費適正化につながり、一人ひとりに還元されていくものと認識している。マイナ保険証を安心して利用できるよう、国の方針に従い周知していきたい。

問 マイナンバーカードを活用した町独自の利便性向上に向けた取り組みについて伺う。

総務課長 役場窓口に来なくてもキオスク端末のあるコンビニエンスストアで、マイナンバーカードを利用して、

住民票の写しや印鑑登録証明書を取得できるサービスが開始されている。また、児童手当等の子育て関係の15手続や介護関係11手続及び罹災証明書の発行申請がマイナポータルからのオンライン申請が可能となった。

問 AIやRPA等のICT活用について検討はしているのか伺う。

総務課長 積極的に進めていく必要があると考えている。システムのメリット、デメリットや費用対効果等を検証しながら、更なるデジタル化の推進に取組んでいく。

防災チャットボットの導入を

問 災害時に住民の利便性の向上、職員の負担軽減につながり、証明書発行や被害認定、災害時の問合わせに自動対応等を行う「防災チャットボット」の導入を検討できないか伺う。

総務課長 他の自治体では、災害時だけでなく、「子育て」「家庭ごみ」など、幅広い業務に活用されているので、今後、デジタル行政の推進によるAIを活用した業務の効率化等の観点から全庁的な活用を検討していく。

問 小中学校体育館へ冷暖房機能のある空調・断熱設備の整備を

答 学校施設の整備を検討する中で考えていく



小早稲 美穂 議員



問 酒々井の子ども達の教育環境・体調管理・生活環境の改善のためにも小中学校の体育館に冷暖房・断熱設備等の環境改善は近年の天候等を考えても急務である。町内公共施設の多くが老朽化している中で、酒々井の子ども達・町民の健康・学校生活改善のためにも冷暖房機能のある空調設備・断熱設備の整備について町の考えを伺う。

ことも課長 災害時には避難所としても指定されているので、空調設備の必要性は認識している。防災等の担当部署の考えを踏まえ、学校施設の整備を検討する中で考えていく。

公共施設のエアコン経年劣化対策は

問 エアコンが導入されていない公共施設はあるのか。また、経年劣化等により故障が危惧される施設はあるのか。

企画財政課長 各公共施設にはエアコンは設置されている。令和5年度はプリミエール酒々井の空調熱源設備の更新、令和6年度と7年度は保健センターの大規模改修の中で空調設備の改修工事を行う予定としている。

公共施設の太陽光発電の能力は

問 町分庁舎・中央公民館及び各小中学校に設置されている太陽光発電設備はそれらを通常に活動させることのできる発電量はどうか。また、災害時の指定避難所として開設した場合にも使用できる電力が確保されているのか。増設等を検討されているか併せて伺う。

企画財政課長 分庁舎は3日間程度使用可能な電力を確保している。

生涯学習課長 中央公民館全館の照明及び講堂のコンセントが約1日使用可能となっている。

ことも課長 小中学校の設備では、必要量を賄うだけの電力量はない。

問 平常時や災害等の非常時に汚れや感染症に対応するため、24時間使用可能なシャワールーム・洗濯室等が必要だと思いが、町の考えを伺う。

企画財政課長 平常時の入浴施設は保健センターやプリミエール酒々井、酒々井コミュニティプラザの利用を考えているが、24時間使用可能な入浴施設等については、必要性や既存施設の改修等が可能なか含めて検討していく。

問 ふれ愛タクシーの町外特別運行(医療機関)を追加し改善・充実を

答 現状から追加することは難しい



木内 信子 議員



問 町には各種タクシー券の補助制度があるが、それぞれの利用者数や実態状況を伺う。

町長 高齢者や障がいをお持ちの方に各種移動手段の提供と支援を行っているが、特に利用が多い高齢者外出支援タクシーは、コロナ禍でも利用者が増加しており、令和4年度実績では7,457回、前年度より1,898回増えており、年間経費は、508万7,500円となっている。

問 ふれ愛タクシーの町外への運行は成田赤十字病院と日本医科大学千葉北総病院と限られているが、今後、医療機関を追加する予定はあるのか伺う。

健康福祉課長 75歳以上の方を参考にすると、成田赤十字病院と日本医科大学千葉北総病院の外来受診が上位2つとなっている。このため、両病院に限り、町外特別運行を行っている。現在の運行状況を鑑みると、新たに町外医療機関を追加することは難しい。

不登校児童・生徒への対応は

問 現在の不登校児童・生徒の人数と対応方法を伺う。

学校教育課長 令和5年度7月末時点での不登校児童生徒は、小学校6人、中学校7人おり、一人ひとりの背景など全て異なっているので、詳しくは控えるが、その上で教育委員会や学校が行っている支援として、「学びたいと思ったときに学べる環境を整える取組」「チーム学校で支援する取組」「学校をみんなが安心して学べる場所にするための取組」の3つに取組んでいる。

また、いじめや暴力行為などの問題行動には毅然とした対応を徹底するよう各学校には依頼している。これらの取組により、児童生徒と教員の信頼関係が強化され、困った時にすぐに相談できる体制ができるものと考えている。

問 支援の取組、不登校のきっかけとなった原因を伺う。

学校教育課長 「学校に関すること」「家庭に関すること」「本人に関すること」とこれらが多様に絡まるのが不登校の要因と考えているので、教育相談をしながら、「探っていく」ことが重要と考えている。

問 「変更契約」なぜ議会の議決を経なかったのか

答 議会の議決は必要ないと考えた



齊藤 博 議員



問 町が発注する金額5千万円以上の「工事及び工事を含む委託業務に係る契約をしようとする場合には、事前に町議会の議決が必要であることが、町の答弁で明確になった。そこで、「不正な国庫金の受領」を引き起こした「電線共同溝工事委託に係る契約」について、次の件を具体的に伺う。

平成30年11月5日に、電線共同溝工事委託契約を町議会で可決した。しかし、当初工期の「平成31年3月29日」で完了しなかったことから、町は工期を令和元年5月17日に変更し、変更契約を平成31年3月29日に締結した。「工期の変更は」議決内容を変更するものであり、当然、議会の議決が必要となるものである。変更契約を締結する前に「契約変更」を町議会に提案するべきだったのでは。

まちづくり課長 その時は、議会の議決は必要ないと考えたと思う。

問 今回の「変更契約」について、町議会の議決を経るべきものを経なかつたと町は明言すべきである。今後、そのようなことを起こさないと発言すべ

きである。このことについて、町長はどう考えているのか。

町長 答弁なし

中川治水対策の進捗状況は

問 中川調節池事業の進捗状況を伺う。

まちづくり課長 昨年度に不動産鑑定、用地測量及び土地評価業務を実施し、本年度は地権者説明会を実施した。今後は、用地取得を進めていく。

問 集団移転対策の進捗状況を伺う。

まちづくり課長 令和2年度に権利者調査と地元説明会を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により地権者との接触が制限され、物件調査等の具体的な資料作成ができなかったため、現在は事業実施を見送っている。

問 内水対策が進捗しない理由を伺う。

副町長 事業用地の取得に向けて買収交渉が続いているが、地権者との条件の整理・調整等が難航している。今後、用地取得の目途がついた段階で工事費用を確保する予定となっている。

8月臨時会

緊急性の高い 3議案を可決

令和5年8月18日に臨時会が開催され、町長から議案3件が提案されました。審議の結果、議案はいずれも全員賛成により原案のとおり可決されました。

議案第1号
プリミエール酒々井故障した空調設備の更新のため
一般会計を増額補正

プリミエール酒々井の空調機2台が経年劣化により故障したため、空調設備の更新に要する経費を計上したもののさらに、プリミエール酒々井長寿命化事業の繰越明許費の設定をするもの。歳入歳出予算額69億1,230万2千円に、4950万円を増額し、補正後の予算額を69億6,180万2千円とするもの。
《賛成全員で可決》

議案第2号
工事請負契約の締結

町道3B-039号線高野台橋橋梁補修工事について、一般競争入札を実施した結果、大木化工建設株式会社が落札し、同社と7,150万円で仮契約を締結したことから、規定により、議会の議決を求めるもの。
《賛成全員で可決》

議案第3号
財産の取得

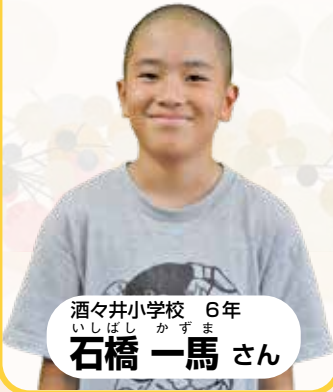
町消防団の老朽化した小型動力ポンプ（第6分団・馬橋）と小型動力ポンプ積載車（第12分団・飯積）を更新するため、一般競争入札を実施した結果、大成産業株式会社が落札し、同社と961万2千円で仮契約を締結したことから、規定により、議会の議決を求めるもの。
《賛成全員で可決》

こども模擬議会代表者に

聞きました

- ①町にどんな「まちづくりプラン」を提案しましたか？
- ②町の好きなところや今後どのような町になってほしいですか？
- ③こども模擬議会に参加してどうでしたか？

- ①歩道整備とサイクリングロードの設置について提案しました。
- ②自然が豊かで、観光施設が多く、過ごしやすいところが好きです。これからも過ごしやすい町になって欲しいです。
- ③とても緊張したけれど、自分の提案を町長さんたちの前で言えたので良かったです。



酒々井小学校 6年
いしばし かずま
石橋 一馬 さん

- ①SDGs15「陸の豊かさを守ろう」の観点から、登校ルートを清掃する「ゴミ拾い隊」を提案しました。
- ②自然が豊かなところで、これからも自然豊かな酒々井町が続いてほしいと思っています。
- ③考えたことを行動に移すことが大切なんだと気持ちが高まりました。



大室台小学校 6年
しばおか まゆ
芝岡 茉優 さん

- ①お祭りを通して、酒々井町の魅力をもっと伝えられるのではないかと提案しました。
- ②町民の温かさがすごく大好きです。だからこその他の市町村の方々にこの温かさを知ってほしいです。
- ③最後まで緊張していました。このような体験をして、一生忘れられない大切な思い出になりました。



酒々井中学校 3年
わたなべ れいな
渡邊 玲奈 さん

- ※木村さんは議長のため、「まちづくりプラン」の提案は行いませんでした。
- ②JR線と京成線、高速も通っており、交通の便が良いところ。自然と利便性が共存する町になってほしいです。
 - ③初めて議場に入り、とても緊張しましたが、役場の職員の方々に丁寧に教えていただいたので、無事に議長を務めることができました。普段の身の回りのできごとや暮らしを見直す貴重な経験でした。



酒々井中学校 3年
きむら ゆみ
木村 有美 さん



10月18日、こども模擬議会が議場で開催され、各学校から選ばれた小学生4名（1名欠席）、中学生6名の合計10名の代表者が出席し、議長以外の9名が登壇して「まちづくりプラン」の提案を行いました。



委員長 御園生 浩士

副委員長 小坂 和也

委員 金塚 学

委員 小早稲 美穂

委員 綿貫 薫

委員 木内 信子

第6次総合計画がはじまり、議会も新体制となって半年が経ちました。

新人議員も仕事に慣れてきた頃かと感じます。

今後の酒々井町議会にご期待ください。

編集にあたって

12月定例会のお知らせ

次の定例会は、12月5日に開会する予定です。

会期の予定は、11月28日に開催予定の議会運営委員会が決まります。会期等は町ホームページでお知らせします。

詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

☎(496) 1171
(内線251・252)

12月定例会のお知らせ